

(様式 1)

動 物 実 験
計 画 書

新潟医療福祉大学 学長 殿

下記の実験計画にもとづいて動物実験を行う予定です。

提出年月日： 年 月 日

申請種別 (○を記入)： 新規 軽微な変更 継続

(新規以外の場合には旧承認番号：)

動物実験責任者	所属学科： 職位： 内線： 氏名：				
研究課題名					
動物実験の目的					
動物実験の実施予定期間					
使用動物	動物の種類	性別	系統	匹数	供給源
実験場所					
動物実験の方法					
動物使用の 必要な理由 (該当番号を ○で囲むと ともに、コメ ントがあれば 記入する)	1. 代替手段がない ()				
	2. 代替手段では精度が不十分 ()				
	3. 代替手段の経費が莫大 ()				
	4. その他 ()				
飼養方法等	飼養場所				

	飼養方法 (○で囲む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別飼育 ・ 群飼育 (1 ケージあたりの匹数： 匹)
	飼料	
倫理基準 (SCAW) に基 づいた動物 実験の分類 (該当番号を ○で囲む)	<p>A. 原生動物、無脊椎動物を用いる実験</p> <p>B. 脊椎動物を用いた実験で、動物に対してほとんど、あるいは全く不快感を与えないと思われる実験</p> <p>C. 脊椎動物を用いた実験で、動物に対して軽微なストレスあるいは痛み(短時間持続するもの)を伴う実験</p> <p>D. 脊椎動物を用いた実験で、避けることのできない重度のストレスや痛み(長時間持続するもの)を伴う実験</p> <p>E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い、あるいはそれ以上の痛みを与えるような実験</p>	
動物が被る 苦痛を軽減・排除する ための方法		
環境汚染や 廃棄等への 注意(該当番 号を○で囲 み、該当す る場合にはそ の詳細と対 応を記入)	<p>1. 特に注意はない</p> <p>2. 注意が必要である</p>	
実験終了後 の処置 (該当番号を ○で囲む)	<p>1. 過剰麻酔による安楽死 (薬剤名：)</p> <p>2. 炭酸ガスによる安楽死</p> <p>3. 頸椎脱臼 麻酔下で行う。</p> <p>4. その他 (方法：)</p>	
実験動物の 死体の処分 方法		

動物実験実施者 (全員記入)	所属・職名・氏名・教育訓練の受講歴（受講済みな場合には○を記入）・内線（ない場合にはメールアドレス）	
遺伝子組み換え処置の有無	1. 有り 遺伝子組換え実験の承認番号（ ） 2. 無し	
動物委員会の判定と意見	1. 実験を許可する	2. 再検討を要する
学長の判断と意見	1. 実験を許可する	2. 再検討を要する
備考		

(動物実験委員会記入欄)

承認日：	承認番号：
------	-------